

妙泉寺便り

節分特集

平成二十八年二月三日(水)

十四時より

本堂にて星祭除厄祈禱会

十五時より

境内にて豆まき

ほしまつりじよやくきとうえ

毎年恒例の「星祭除厄祈禱会(通称・節分祭)」が近づいて参りました。

「節分」とは、季節の移り変わる時(立春・立夏・立秋・立冬)の特に立春の前日をさし、この日は各地で厄払いの行事が催されます。民間では豆撒きが行われ「鬼は外、



福は内」等と唱えながら、悪鬼悪霊を追い払います。

このことは中国の大晦日や節分に悪鬼を追放する「追儺(ついな)」という行事が由来となっております。

日本に入ってきたのは慶雲三年(七〇六)で、疫病の大流行により、矛と盾を持った方相氏(ほうそうし)という人が三度、矛で盾を打つという儀式が催されました。その風潮が取り入れられ、各地で面をかぶって仮装した鬼を払う儀式が行われるようになったのです。本年は二月三日(水)

第10号

発行所:本覚山妙泉寺
岡山市南区古新田633
TEL:086-282-0001
FAX:086-282-7602
URL:http://park19.wakwak.com/~myousenzi/

の十四時より本堂にて星祭と厄除けの祈願法要を行います。その際には例年通り修法師によるお加持がありますので、今年一年も皆様が健康で過ごせますよう祈念する為、是非ともお受け下さい。

その後、十五時より境内へと場所を移し、櫓(やぐら)の上から豆まきを行います。その時にはお菓子やお餅等々も盛大に撒かれます。

尚、当山には「鬼子母神様」を安置してありますので、掛け声は「福は内」とだけ言いましょう。鬼子母神様が外に出て行かれると困るので・・・。

また昨年同様「クロワツ



「サンたい焼き」の移動販売車も出店しますので、皆様におかれましてはご家族お揃いでお参り下さい。豆まきを希望される方は一月二十五日(月)までに当山へお申し込み下さい。

厄年・祝い年の方を心に撒いて頂きますので裏面の「厄年祝い年一覧表」をご参照下さい。

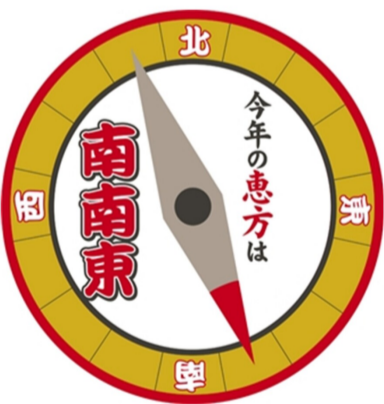
恵方巻き

「恵方巻き」とは「節分に食べると縁起が良い」と云われる太巻きのこと

で、その由来には諸説ありますが、「恵方」とは陰陽道でその年の干支によつて定められた最も良いとされる方角のことで、そこには「年徳神(としとくじん)」がいらつしやると考えられています。その恵方に向かって巻き寿司を食べることから「丸かぶり寿司」や「丸かじり寿司」とも称されています。

巻き寿司を切らず、一本丸ごと食べるのは「縁を切らない」という意味

も含まれており「七福神」にちなんで、かんぴよう・きゅうり・うなぎ・卵等の七種類の具材が入れられ「福を招く」という願いも込められています。ちなみに本年の恵方は「南南東」になります。



恵方巻きの起源は正式には不明ですが、江戸時代末期に大阪の船場で商売繁盛の祈願をする風習として始まったと云われています。

この風習は後に廃れてしまいましたが、昭和五十二年(一九七七)に大阪で開催された「海苔祭り」の中で巻き寿司の早食い競争が行われました。このお祭りをきっかけに海苔の生産量が急激に増え、より多く売ることになり、そのために考えた海苔業者の作戦だったというわけです。それが見事に成功し、

マスコミで紹介され全国に広まったのです。

しかし、まだこの段階で「恵方巻き」という名前ではなかったのですが、平成元年(一九八九)に広島のカブトイレーブで巻き寿司を販売し、その店舗のオーナーが節分の巻き寿司を「大阪の縁起が良い風習」として紹介し「恵方巻き」と命名しました。

それから平成十年(一九九八)に全国展開され、一気に知名度が上がリ、全国のスーパーやコンビニ等々で販売されるようになり、現在ではシンプルなものやアレンジ商品など、様々な形に変化し、節分の定番となったのです。

海苔業者とセブンイレブンの企業戦略だったわけですね。



平成二十八年年度厄年祝い年一覽表
〔年齢は総て数え年〕

★厄年

- 十九歳 女性 平成十年生まれ 寅(とら)
- 二五歳 男性 平成四年生まれ 申(さる)
- 三三歳 女性 昭和五九年生まれ 子(ねずみ)
- 四二歳 男性 昭和五〇年生まれ 卯(うさぎ)

★長寿の祝い年

- 六一歳 還暦(かんれき) 昭和三十一年生まれ 申(さる)
- 七〇歳 古希(こき) 昭和二十二年生まれ 亥(いのしし)
- 七七歳 喜寿(きじゆ) 昭和十五年生まれ 辰(たつ)
- 八〇歳 傘寿(さんじゆ) 昭和十二年生まれ 丑(うし)
- 八八歳 米寿(べいじゆ) 昭和四年生まれ 巳(へび)
- 九〇歳 卒寿(そつじゆ) 昭和二年生まれ 卯(うさぎ)
- 九九歳 白寿(はくじゆ) 大正七年生まれ 午(うま)
- 一〇〇歳 百寿(ももじゆ) 大正六年生まれ 巳(へび)
- 一〇八歳 茶寿(ちやじゆ) 明治四二年生まれ 酉(とり)
- 一一〇歳 椿寿(ちんじゆ) 明治四〇年生まれ 未(ひつじ)
- 一一一歳 皇寿(こうじゆ) 明治三九年生まれ 午(うま)
- 一一九歳 頑寿(がんじゆ) 明治三一年生まれ 戌(いぬ)
- 一二〇歳 大還暦(だいかんれき) 明治三〇年生まれ 酉(とり)

★年男・年女(申歳の人)

- 平成十六年生まれ (十三歳)
- 平成四四年生まれ (二五歳)
- 昭和五五年生まれ (三七歳)
- 昭和四三年生まれ (四九歳)
- 昭和三一年生まれ (六一歳)
- 昭和十九年生まれ (七三歳)
- 昭和七年生まれ (八五歳)
- 大正九年生まれ (九七歳)
- 明治四一年生まれ (一〇九歳)



「和讃」始めてみませんか

毎週の日曜日の午後五時頃、また昼間に来られない方の為に隔週土曜日の十九時半より、和讃の稽古を行っています。

「和讃」とは、お釈迦様・日蓮聖人・先師上人のご遺徳を偲ぶ歌で、団扇太鼓を叩いてリズムを刻みながら歌う歌のことです。



当山では、お会式の法要中に和讃曲を取り入れ、発表しております。

また年に数回、田町の蓮昌寺様での研修や講習

毎月一日と十八日の十時五時頃、また昼間に来られない方の為に隔週土曜日の十九時半より、和讃の稽古を行っています。

「和讃」とは、お釈迦様・日蓮聖人・先師上人のご遺徳を偲ぶ歌で、団扇太鼓を叩いてリズムを刻みながら歌う歌のことです。

会も開催されますし、岡山県和讃会による県内の和讃の集いも年に一度行われ、更には県外での全国大会も開催されています。ちなみに本年は宮城県仙台市での開催予定となっております。

そして岡山県内での和讃大会があれば、県内寺院の和讃会の方々も大勢参加されます。

歌が好きな方や興味ある方、和讃で団扇太鼓を叩いてみたい方等々、見学も大歓迎ですので、是非ともお一人でも多くの参加をお待ちしております。

太鼓はお寺にあります。年齢・性別は問いませんので、お問い合わせ・お申し込み等は当山まで!!



こぞうくん ストラップ (申年バージョン)



根付け紐バージョン【右】
普通紐バージョン【左】
どちらも一体 三五〇円

日蓮宗新聞社(東京都大田区)には宗門のゆるキャラ「こぞうくん」がいます。愛嬌たっぷりで可愛らしいこぞうくんのグッズは色々ありますが、当山では「こぞうくんストラップ」を販売しております。

団扇太鼓バージョンや読経バージョン・纏バージョン・干支バージョン等々、種類も豊富に取り揃えております。

そして今年の干支である「申年バージョン」も販売しております。お参りの際には、今年の縁起ものとして、また「お守り」としてもいかがでしょうか。

編集後記

慌ただしかった平成二十七年も終わり、平成二十八年が幕を開けました。毎年のことながら年末年始になりますと「月日が経つのは早いなあ」と実感するものです。

思い返せば平成二十六年の始めに「岡山仏教テレホン相談室」の会計業務を仰せつかり、今月末に無事に次の方へと引き継ぐこととなりました。

「岡山仏教テレホン相談室」には日蓮宗以外の方も大勢所属しています。二年間の会計業務の中で電話当番はもちろん、総会や懇親会等に顔を出す機会が多く、日頃他宗の方と関わる機会がないので、この二年間、会計業務はもちろん他宗派の方と交流でき、非常に良い勉強になりました。

そして本年・来年と「岡山仏教テレホン相談室」の会計監査を仰せつかりました。こちらも責任をもって務めたいと思います。

